

平成18年度 住宅ローンに関する顧客アンケート調査結果

<調査の概要>

1. 調査方法 インターネット調査

インターネット調査会社のモニター18.3万件に対して調査対象の要件確認を行い(7/6~7/10)、これに応じた73,429件の中で、平成18年7月1日現在、平成15年以降の住宅取得者以外で、5年以内に具体的に住宅を取得予定の方7,020件、平成15年以降に住宅を取得された方8,393件に対してインターネットによるアンケート調査を実施し、調査期間(7/12~7/18)に先着順に回答があった住宅取得予定者4,667件、住宅取得者4,913件を調査対象とした。

2. 調査対象

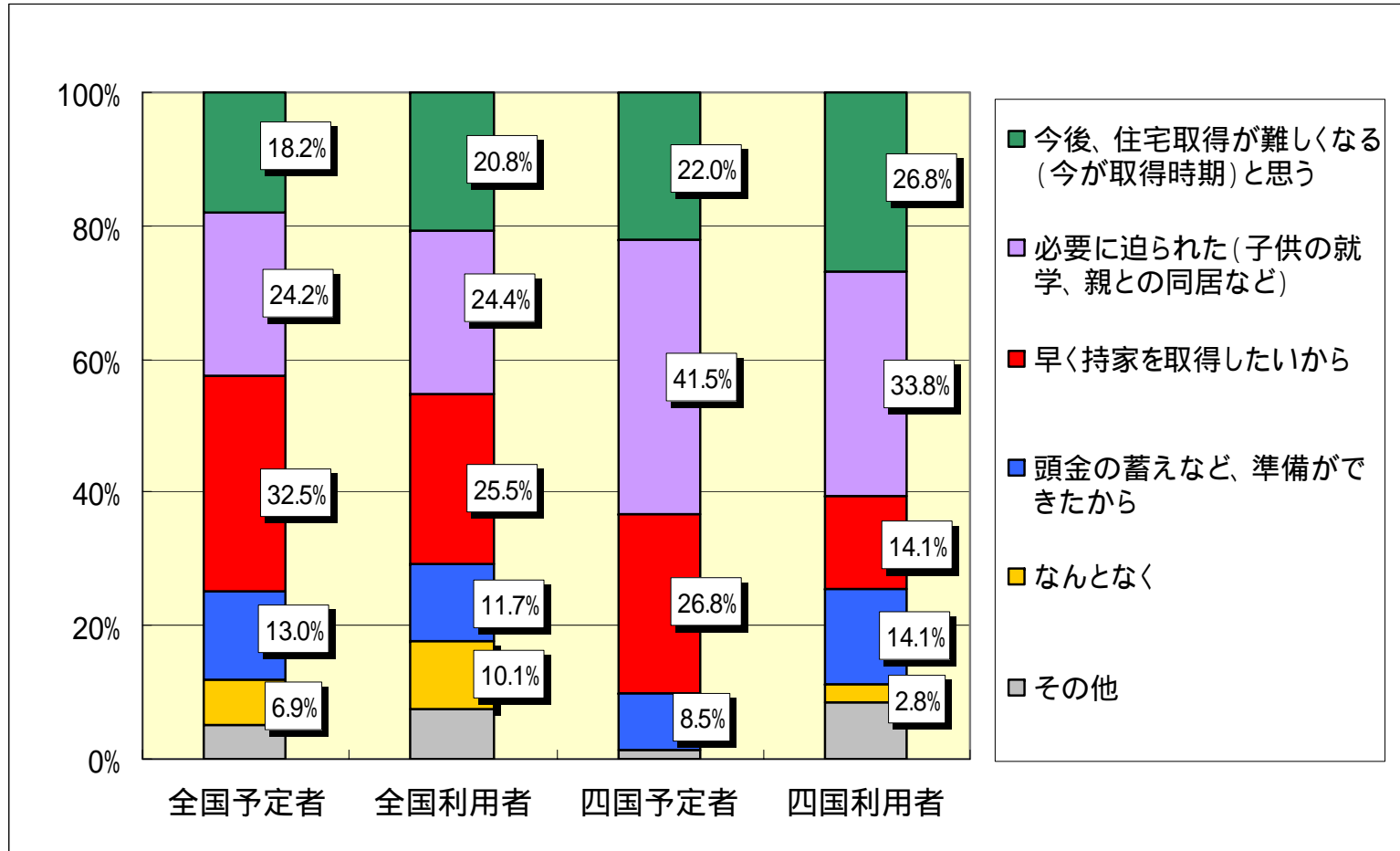
- ・住宅取得予定者 平成15(2003)年以降に住宅を取得した方以外で、5年以内に具体的に住宅を取得予定の方 4,667件(四国:91件)
- ・住宅ローン利用予定者 住宅取得予定者のうち、住宅ローンを利用予定の方 4,108件
(四国:82件)
- ・住宅取得者 平成15(2003)年以降に住宅を取得した方 4,913件(四国:91件)
- ・住宅ローン利用者 住宅取得者のうち、住宅ローンを利用した方 4,231件(四国:71件)

3. 調査時期 平成18年7月12日~7月18日

4. 調査項目 住宅ローンの利用や返済に関する事項

Q1 住宅の取得動機

住宅の取得動機はどれですか？(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)

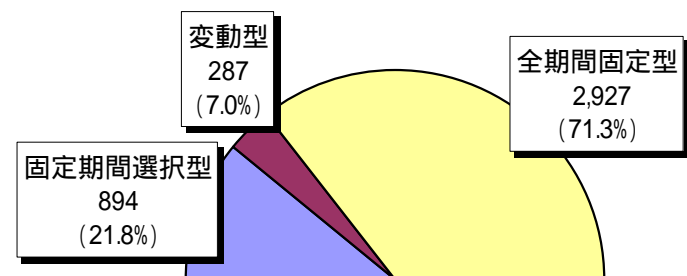


四国では必要に迫られて住宅を取得している人が多い。

Q2(1) 金利タイプ

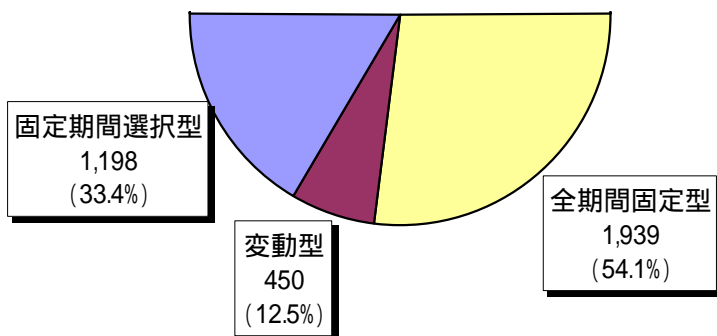
住宅ローンを1つ選ぶとしたら、どのタイプを選びますか？(住宅ローン利用予定者)

住宅ローン利用予定者 < 全国 >

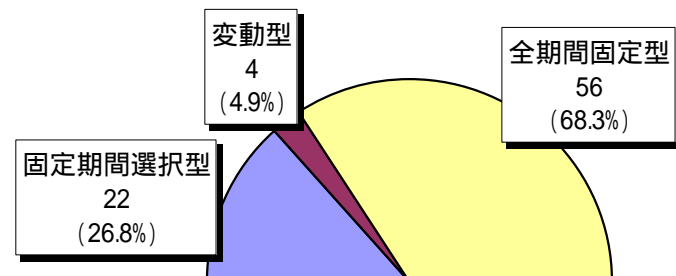


平成18年度

平成17年度

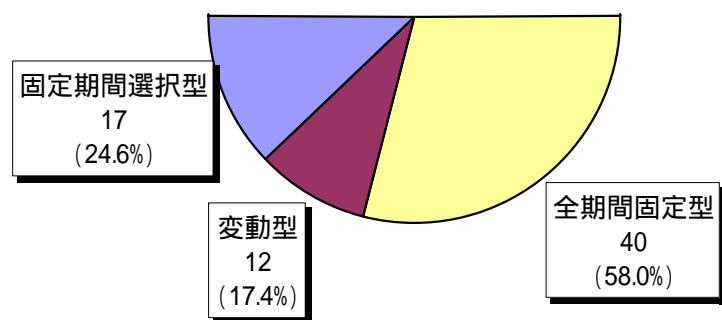


住宅ローン利用予定者 < 四国 >



平成18年度

平成17年度

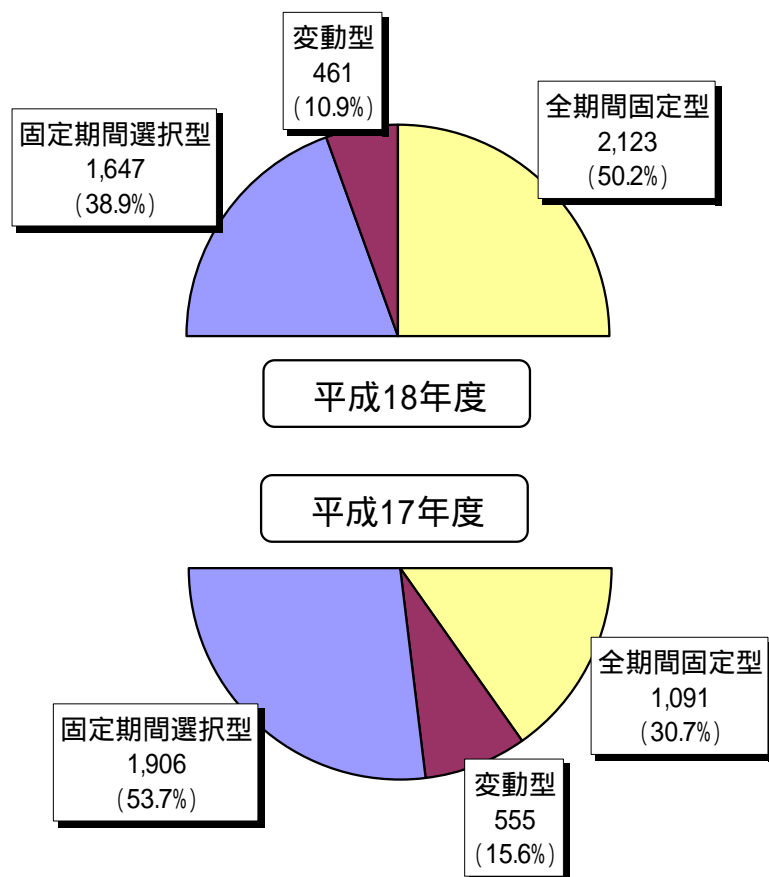


住宅ローン利用予定者は、昨年より全期間固定型を希望する人が1割以上増加。

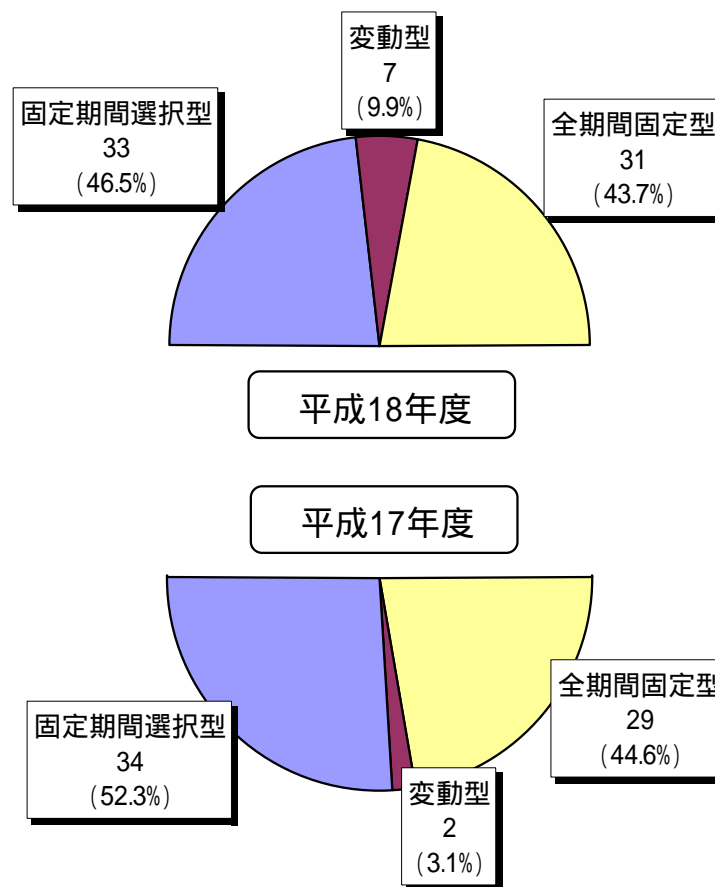
Q2(2) 金利タイプ

利用した住宅ローンのタイプはどれですか？(住宅ローン利用者)

住宅ローン利用者 < 全国 >



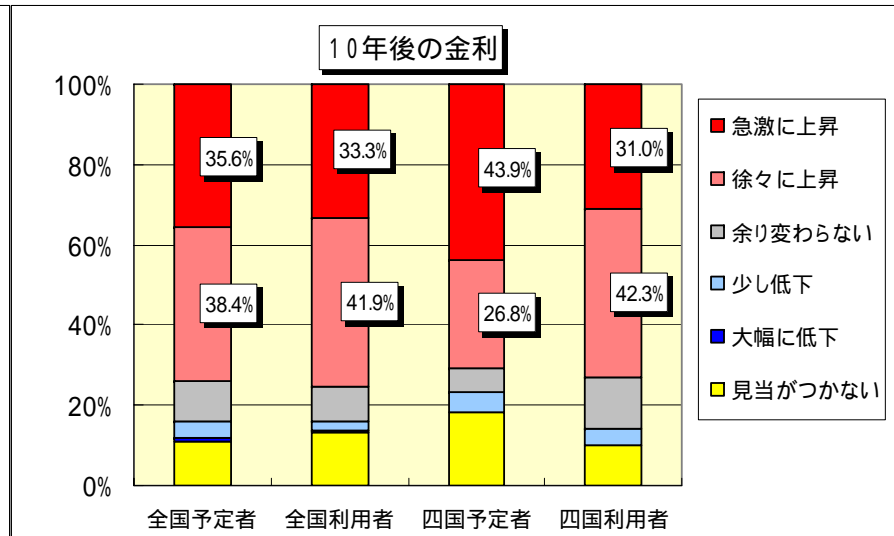
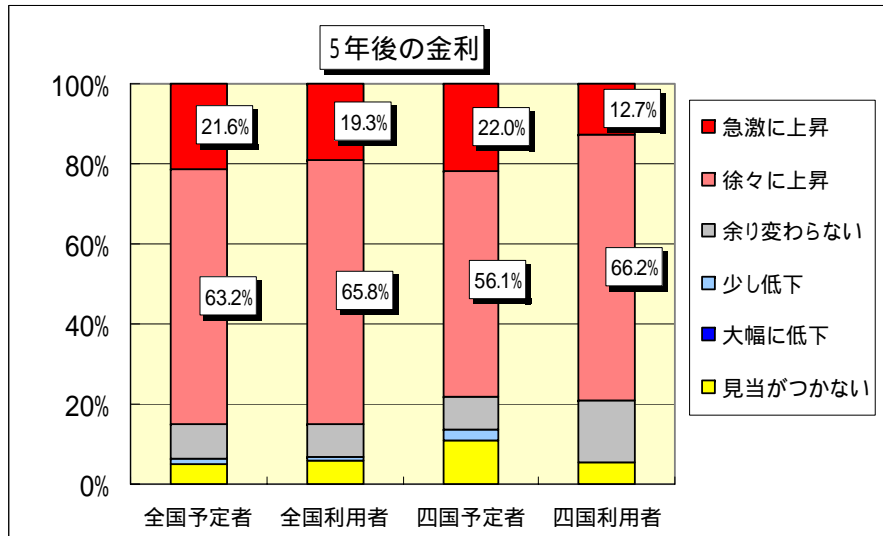
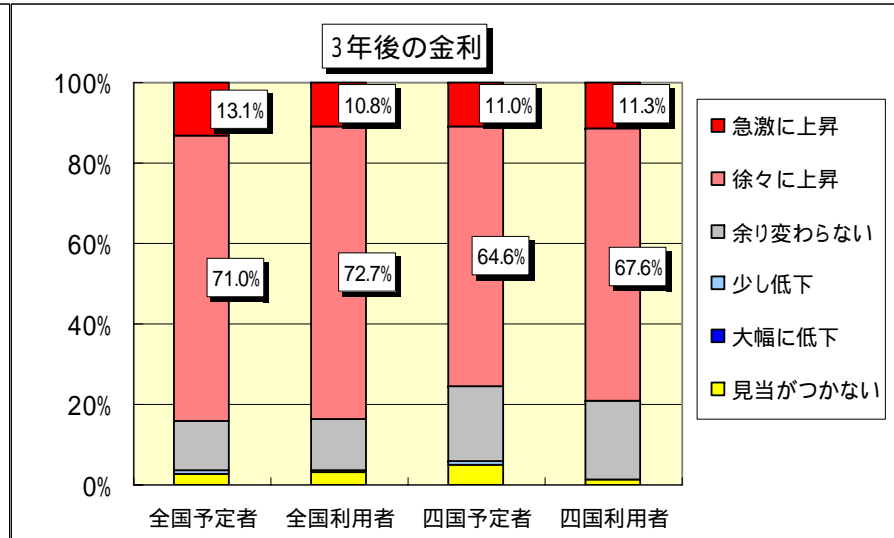
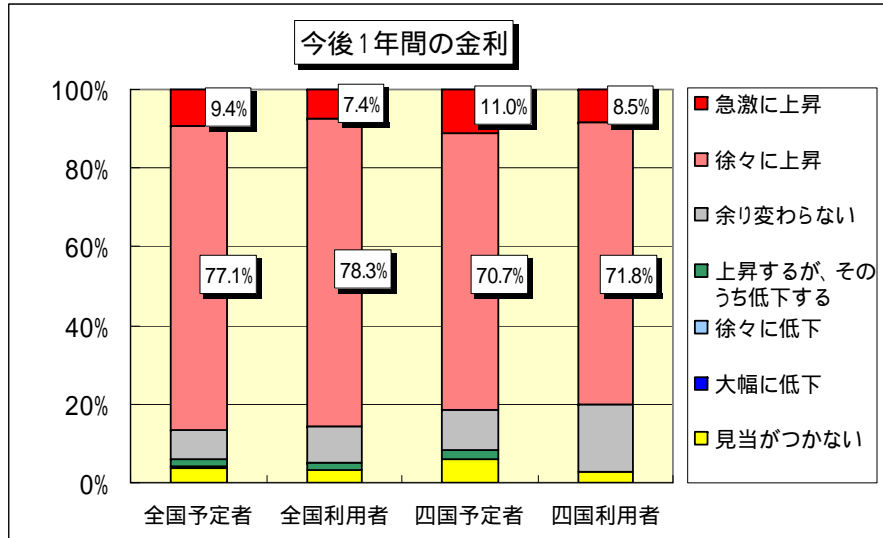
住宅ローン利用者 < 四国 >



全国の住宅ローン利用者は、全期間固定型を選択した人が2割増加。

Q3 今後の住宅ローン金利

今後、住宅ローン金利はどのように思いますか？(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)



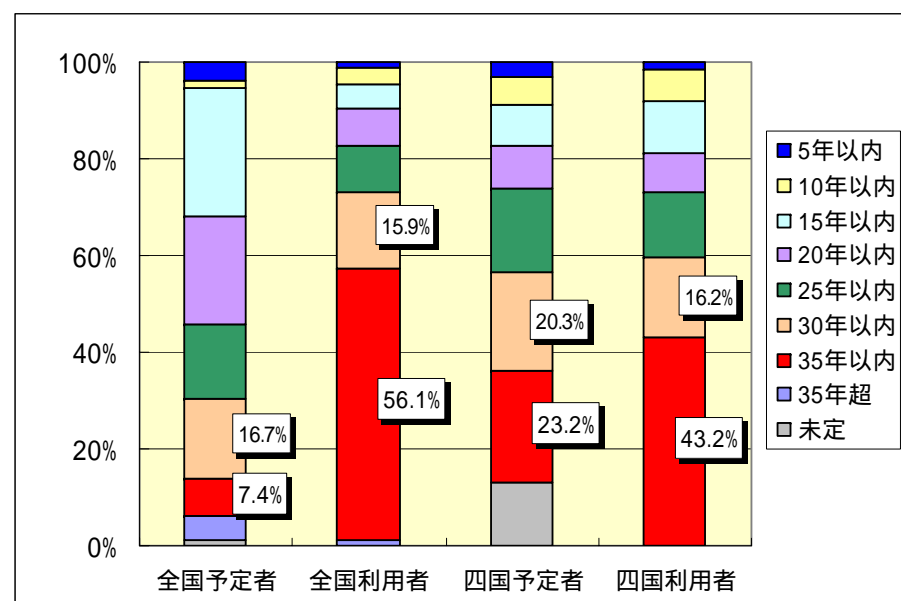
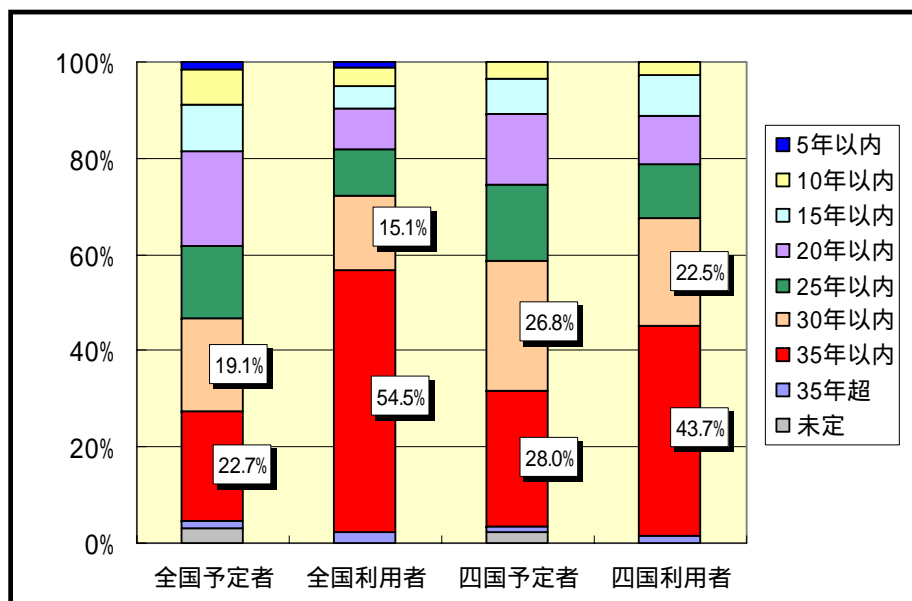
8割以上の人が金利上昇を予想している。

Q4 返済期間

- (1)住宅ローンの返済期間は、どれくらいを予定されていますか？(住宅ローン利用予定者)
 (2)利用した住宅ローンの返済期間の設定は、次のどれですか？住宅ローン利用者

平成18年

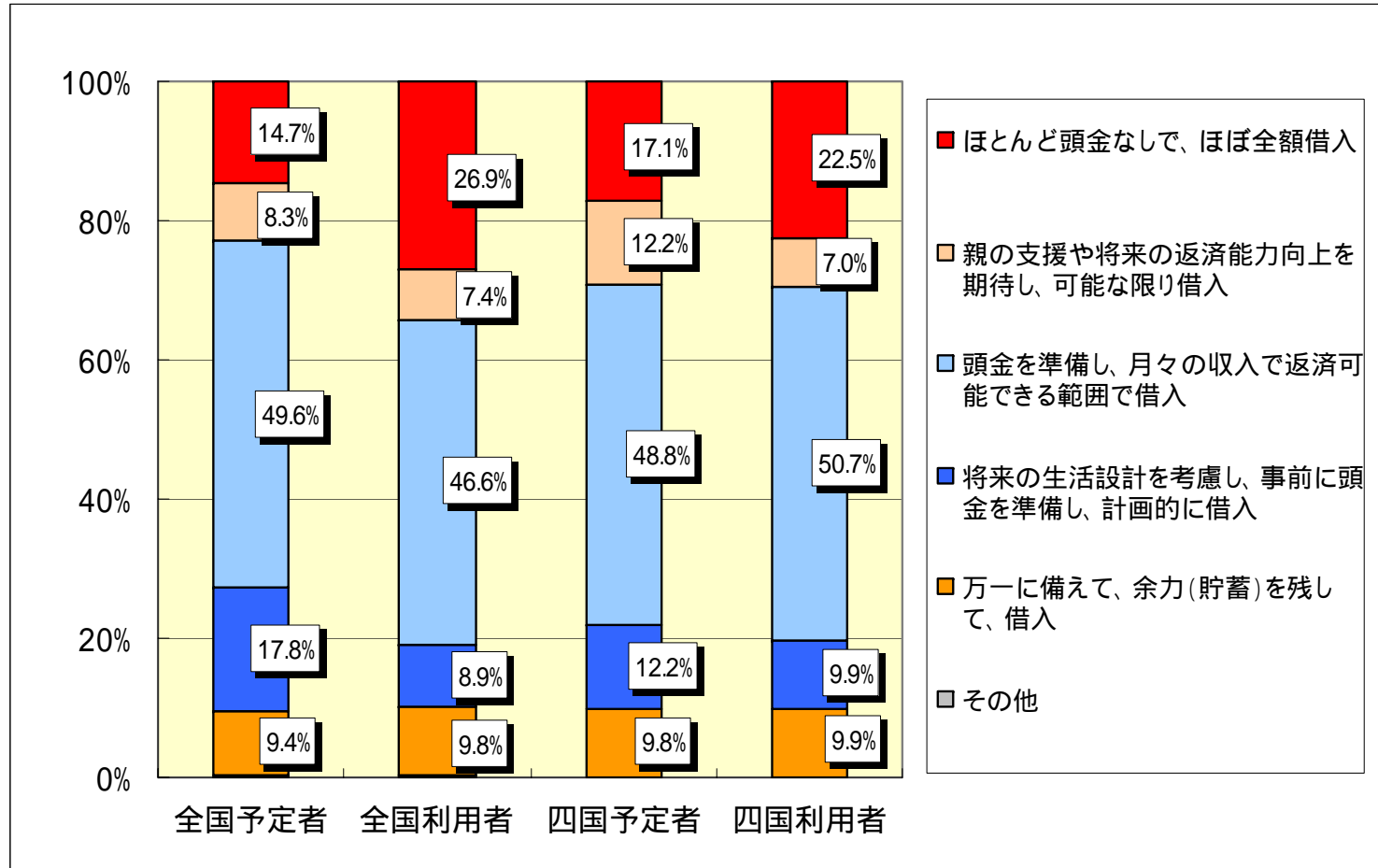
平成17年



四国の住宅ローン利用者は、昨年と比べて超長期の住宅ローンを選択する人がやや増加。(約7割の人が25年超の住宅ローンを選択している。)

Q5 住宅ローン借入に関する考え方

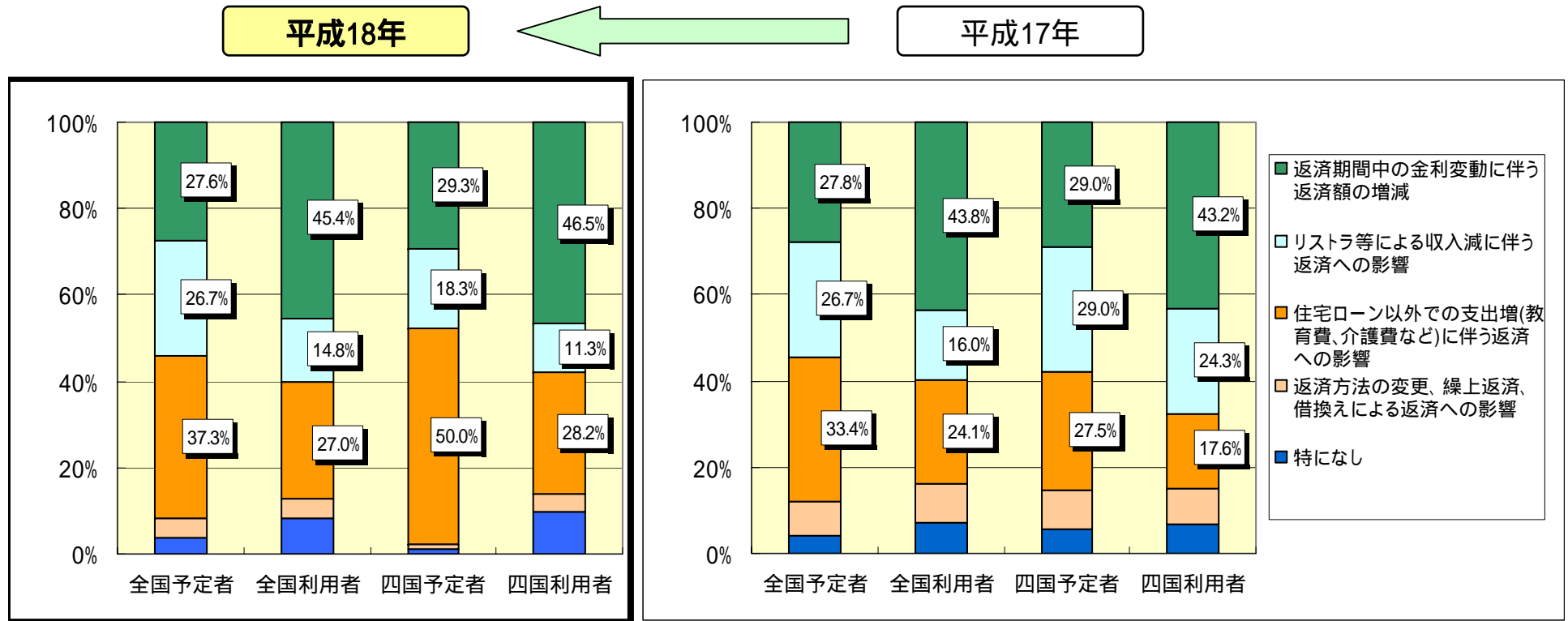
住宅ローン借入に関する考え方は次のどれですか？(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)



2割以上の方がほとんど頭金なしで、ほぼ全額借り入れしている。

Q6 気になること

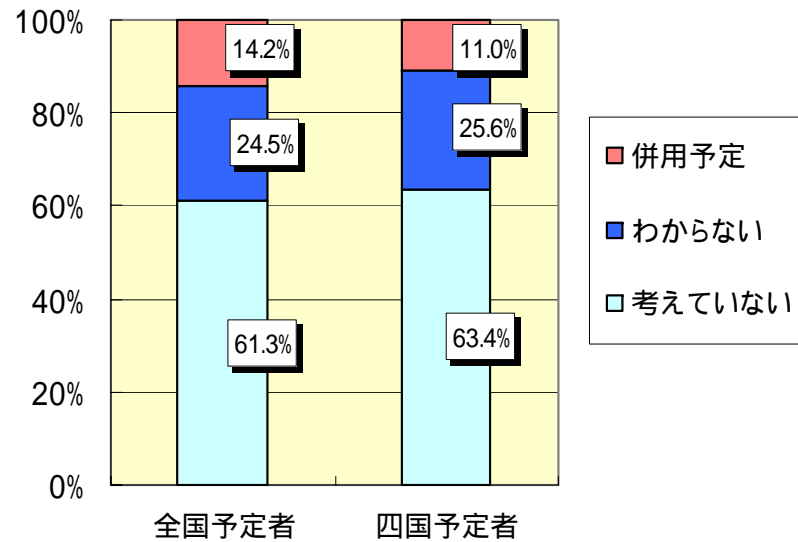
住宅ローンの返済に関して、気になることはどれですか？(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)



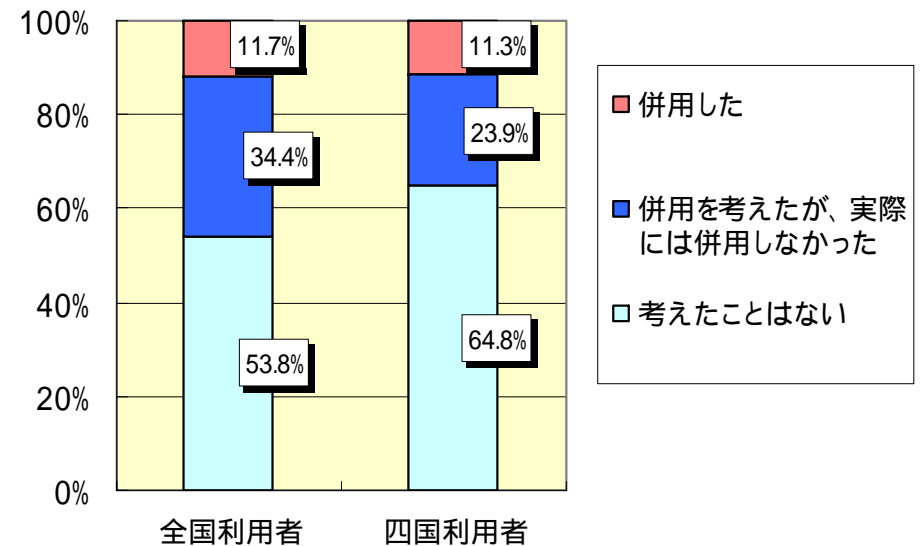
住宅ローン利用予定者は、リストラ等による収入減少を気にする人が減少。
住宅ローン利用者は、金利変動を気にしている人が多い。

Q7 併用借入

(1) 金利タイプの異なる住宅ローンを併用する予定ですか？
(住宅ローン利用予定者)



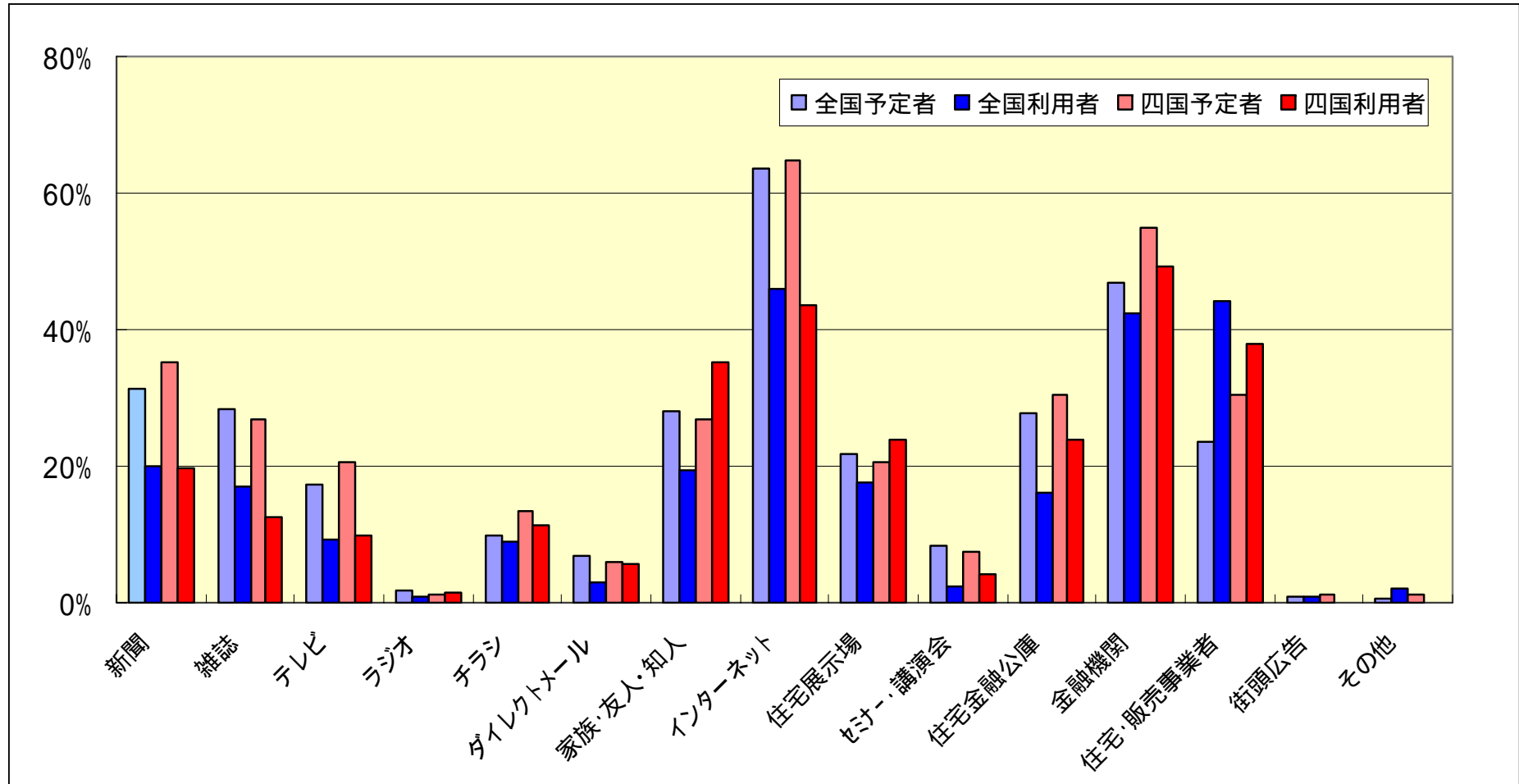
(2) 金利タイプの異なる住宅ローン借入を考えましたか？
(住宅ローン利用者)



約 1 割の人が異なる金利タイプの住宅ローンを併用している。

Q8 情報入手先

住宅ローンに関する情報の主な入手先はどれですか？ 複数選択可(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)

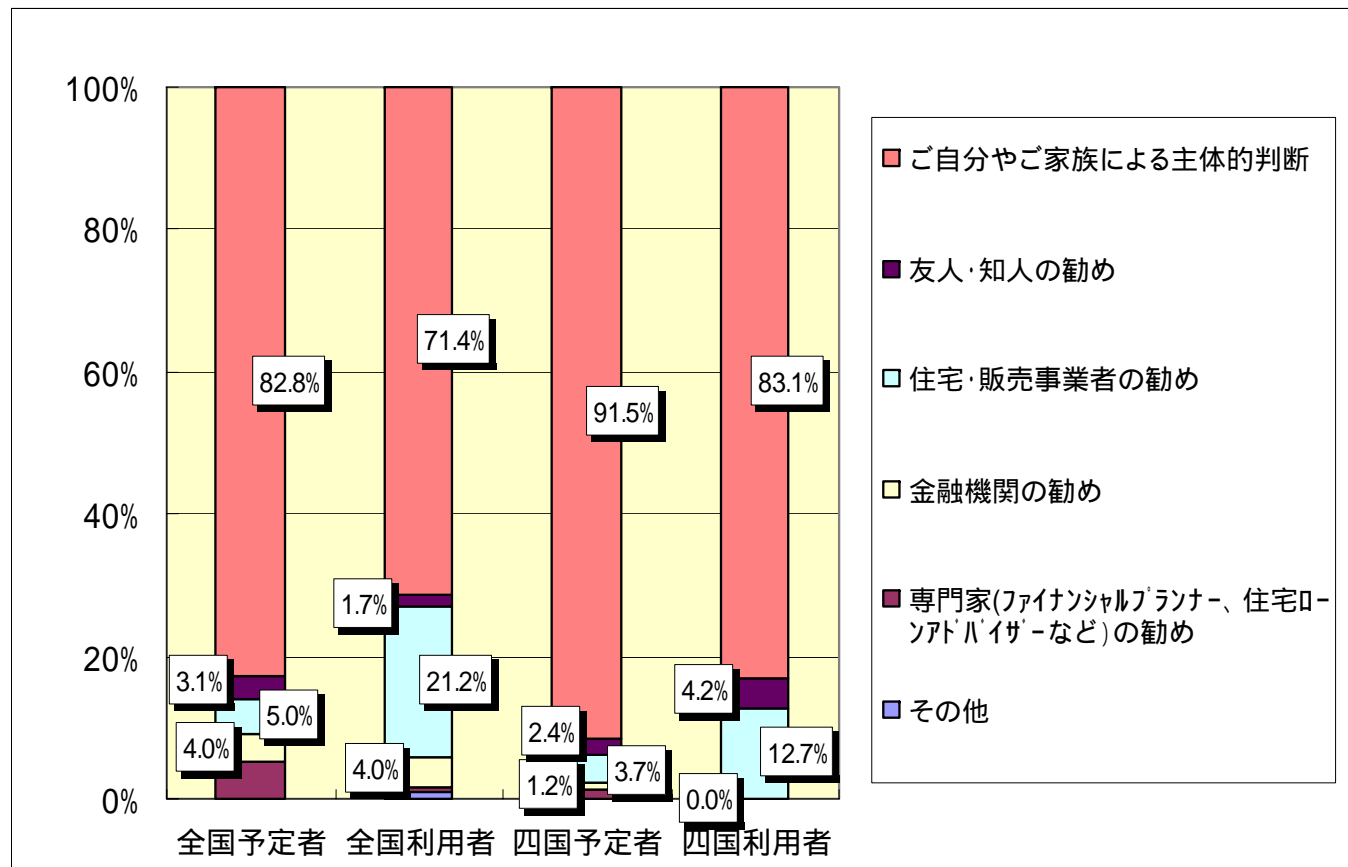


インターネットの他、金融機関や事業者から情報入手している人が多い。

Q9 意思決定理由

住宅ローンの選択について、最終的な意思決定として最も重視するのはどれですか？

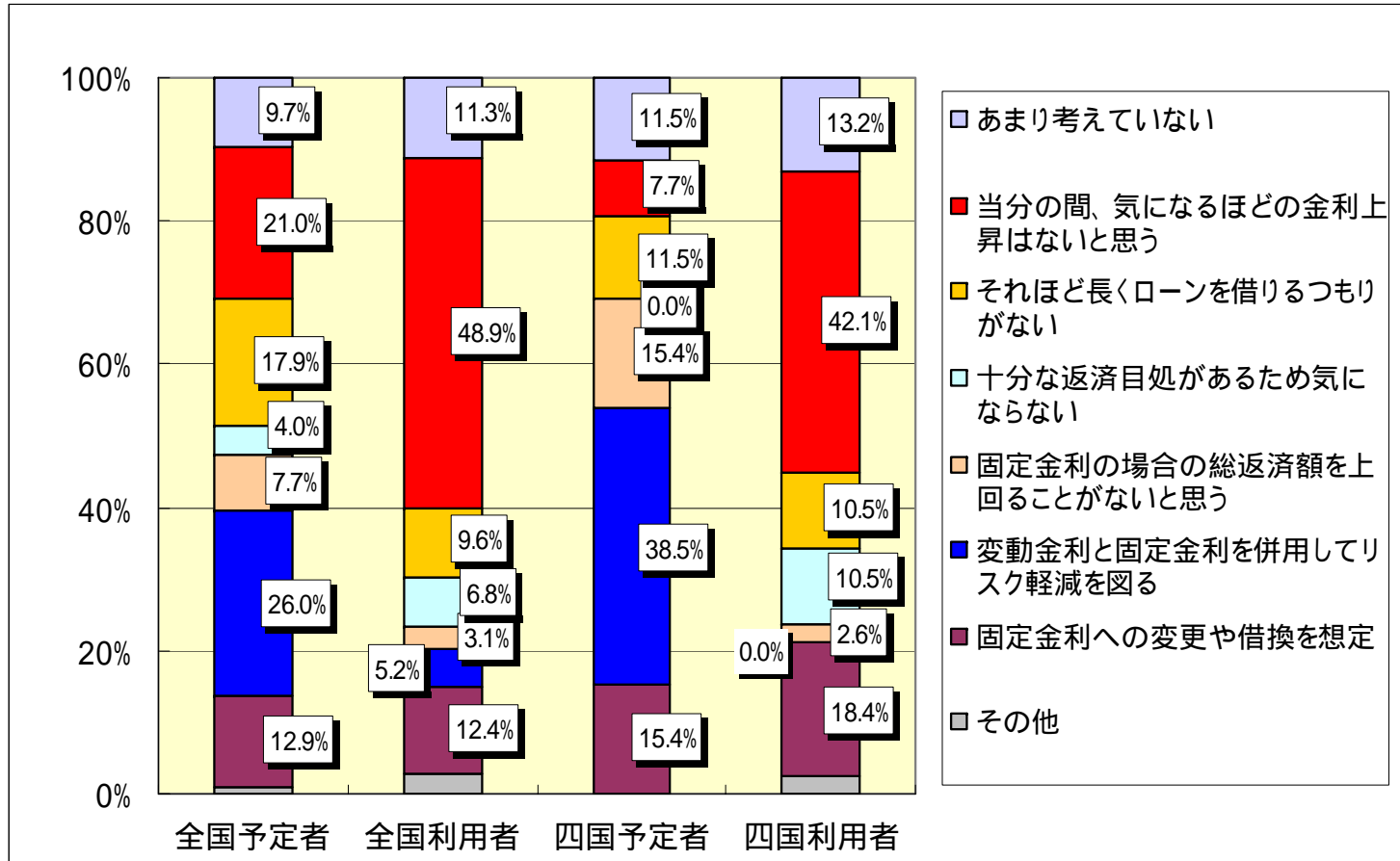
(住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者)



全国の住宅ローン利用者は、約2割の人が住宅・販売事業者の勧めで住宅ローンを決めている。

Q10 返済中の金利上昇やそのリスク

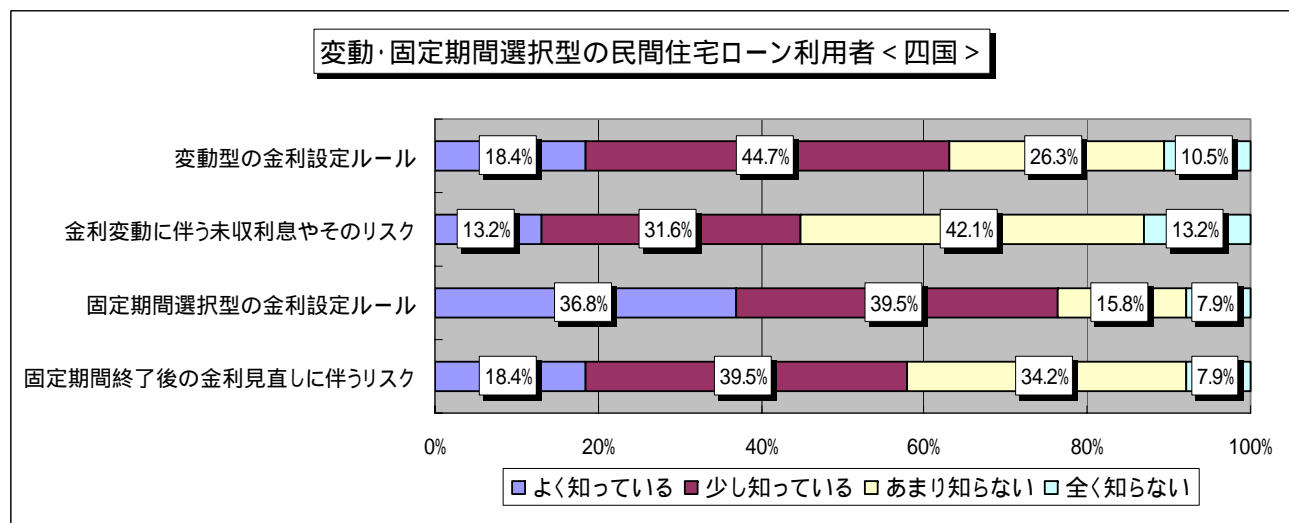
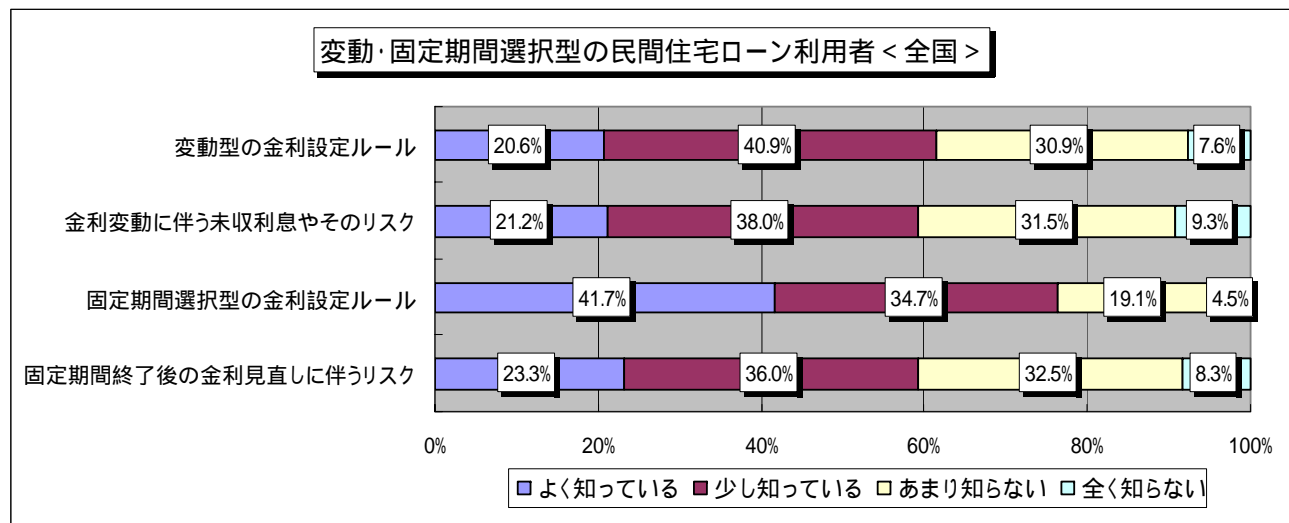
返済中の金利上昇やリスクについて、どのようなお考えですか？（住宅ローン利用予定者、住宅ローン利用者）



住宅ローン利用予定者は併用による金利リスクの軽減を考えていたが、住宅ローン利用者は当分の間、気になるほどの金利上昇はないと考えている。

Q11 商品性理解度

最終的に民間住宅ローンを決められた際、住宅ローンの商品性(金利変動ルールやリスク)に関してご存知でしたか？
(変動・固定期間選択型の民間住宅ローン利用者)



金利変動や金利見直しに伴うリスクについて、
約4割の人があまり理解していない。